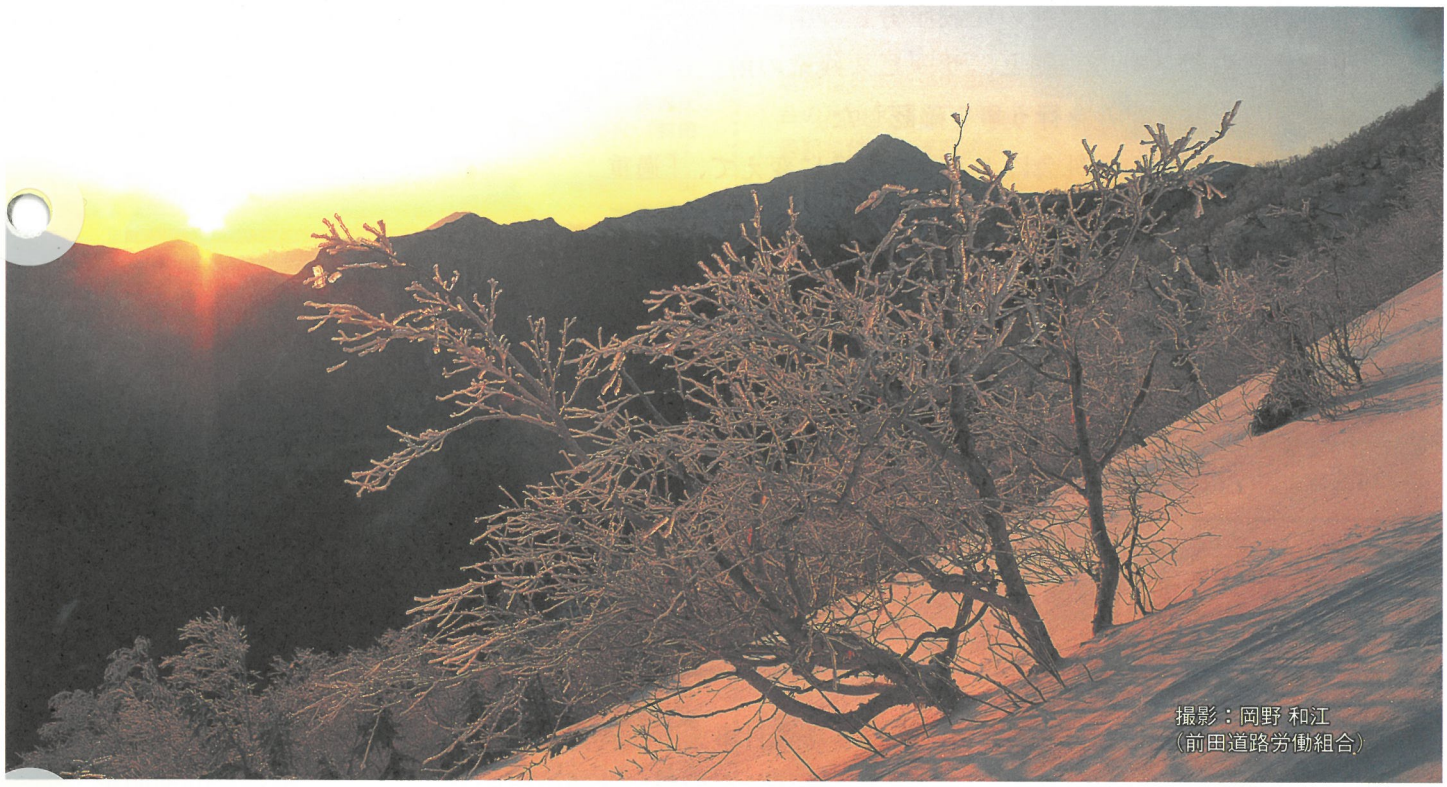
第59号　2003年１月21日　　発行人　白井好雄　　編集人　小山郁文

道建労協機関紙

PAVE

Council of Road Construction Worker´s Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11（日本鋪道労働組合内）　電話03（3562）5857
URL.http://www1.ocn.ne.jp/~cru



撮影：岡野 和江
（前田道路労働組合）

変革の時 道路産業の再生へ 地道な活動を積み重ねよう

議長　白井　好雄
（日本鋪道労働組合）

道建労協の皆様、あけましておめでとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、建設産業特に道路建設産業を取り巻く環境は、一昨年以上に激変してきました。

道路特定財源制度の見直しや道路関係四公団民営化推進化委員会の議論等、財政難を背景に、公共事業の中でも特に道路建設に対する世論が厳しさを増しております。国土交通省は、道路整備5カ年計画をはじめ、9本の長期計画を統合し、都市再生など事業の重点化を図る方針を明らかにしています。予算配分硬直化の批判を踏まえ、公共事業の総額抑制と効率的な事業の執行、つまり量と質の両面から社会資本整備のあり方を見直す動きが顕著になっている状況であります。また、民需を含めた２００２年度の建設投資額は、16年振りに60兆円を割り込むものと見込まれています。市場規模の縮小化傾向が続き、今後益々建設業者の過剰感が顕在化してくる環境下、各社は、生き残りをかけた熾烈な受注競争を強いられているのが実状であります。

この様な状況のなか、昨年度は特に「道路建設産業の魅力化への取り組み」の一つの切り口としての「土曜閉所運動」に力を注ぎました。その一環として各県のアスファルト合材協会に対し、年間を通しての第2・第4土曜日のプラント休業を働きかけました。道建労協は今後も、道路建設産業が働きがいのあるいきいきとした産業になるよう、地道な活動を積み重ねて行きますのでより一層のご協力をお願いします。

最後になりますが、本年も良い一年となりますよう祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

フリーウェイ

映画「ハリー・ポッター」シリーズの第2作を子供と見に行った。大人が見ても充分楽しい構成だが、恥ずかしながら「魔法で色んな事が解決出来たら・・」という非現実的なあこがれを感じながら見てしまった。映画の中の人々は、万能の魔法使いで、当然のごとく便利な魔法だらけの日常を送っている。どこを見てもうらやましい～！

子供曰く「ハリーは子供だけど勇敢で知恵がある」。そう、物語の主人公が敵との戦いで発揮したのは勇気ある行動だ。魔法だらけの社会でも魔法が万能ではないのだ。省みれば、現実の世の中も同じで、魔法と言っても不思議でない便利な道具はいっぱいあるが、山積された問題はそれだけでは解決出来ない。ヒーローじゃない自分は粛々と行動するのみ。

（前田道路労働組合）

建設産労懇第4回総会

平成14年11月15日（金）、友愛会館（港区）において建設産労懇の第４回総会が、加盟の道建労協、日建協、建設連合、全電工労連、長谷工グループ労組、通建連合の５団体より34名の参加を得て開催された。総会の冒頭で加藤建設産労懇会長（日建協）より、「建設産業の果たしている役割を訴えると共に、建設産業の魅力化に産労懇として取り組める事は積極的に推進したい」と挨拶があった。01年度の活動報告の後、02年の各参加団体の今年度の活動方針を発表し、02年度の建設産労懇の活動計画として、土曜休日取得活動の推進と、サービス残業の解消へ向けて継続した取り組みを行う事を確認した。

後半は、例年の分科会による意見交換に変えて、「過重労働による健康障害の防止のための総合対策」について厚労省より専門官を招いての講演会が開かれた。参加者から時間一杯まで活発な質問が行われ、労働政策に対する認識を共有する事ができた。

土曜日事業所一斉休業運動

前号でも紹介した11月の「第２・第４土曜日事業所一斉休業運動」が実施されました。

道建労協の取り組みとしては、従来より建設産労懇で共通のポスターを作成・配布し、加盟企業の社長宛の要請文を提出し、加盟企業訪問を行ってきました。今回運動において各加盟企業の半数では、企業側からの通達が同時に出されており、結果は現在集計中でありますが、昨年を上回る結果が期待されます。あわせて道建労協として2000年６月期より「合材工場一斉閉所運動」の一環として続けてきた各県アスファルト合材協会訪問も今回、四国、関西の一部を訪問し、地区別では関東を残すのみとなりました。今後各県単位へのますますの浸透が期待されます。

地協活動報告

北海道地協定期大会開催

10月18日、ホテルライフォート札幌において第12回北海道地協定期総会が開催されました。地協役員他各単組５名に加え、来賓として本部より小山副議長にご出席を賜り、2001年度の経過報告・決算報告並びに2002年度の新役員・運動方針・予算が審議されました。

役員改選では６年の長きに渡り副議長を務められました高橋博久氏（東京舗装社員組合）が退任され、後任として本多紀幸氏（前田道路労働組合）が選出されました。

審議におきましては、特に運動方針と予算では、来賓挨拶で小山副議長より規約の改正と今後の道建労協のあり方についての説明を頂き、また北海道地協においても既に幹事会で今後の活動についての検討を行っており、限られた予算内での最大限の活動を目指しております。そのために、各単組間の相互交流を通じて情報交換を活発に行い、活動の柱であるレクリエーションも回数を減らしながらも、組合員のみならず家族みんなで参加できるものを行っていきたいと考えております。

現在の厳しい社会情勢に対し各単組力を合わせて乗り切ることを確認し、最後に参加者全員で万歳三唱を行い、定期総会は終了しました。

北海道地協　議長　湯浅慎司（大成ロテック社員組合）

関東地協定期大会開催

去る９月27日（金）、東京都品川区の前田道路㈱本社会議室にて第13回道建労協関東地協の定期大会が開催されました。当日は各単組からの代表として代議員の方に、又、来賓として本部の西事務局長にもご出席を頂き、平成13年度の関東地方協議会の活動内容と新年度の活動方針について説明させてもらいました。既にご存知の方も多いと思いますが、新年度より組合員への負担を配慮し、道建労協への負担金を減額させてもらうこととなりました。これに伴い、関東地協の活動内容も変更してまいります。具体的にはこれまで年３回行っていたレクリエーションを原則１回に、一方で昨年は休止しておりました意見交換会を６月あたりに実施したいと考えております。年度スローガンとして「意見集約の場としての地協」を掲げ、レクリエーションだけではない地協を実現するよい機会にしてゆきたいと思いますので、各組合員の方のご協力を今後ともお願いいたします。

関東地協　議長　内村哲弘（大林道路職員組合）

中部地協定期大会開催

中部地協第13回定期大会を9月19日（木）中区栄の前田道路（株）の会議室にて開催いたしました。大会は前期の活動報告と決算報告、今期の活動方針案、会計予算案、役員選出がそれぞれ満場一致で承認されました。今期の役員は、従来1単組2名の選出を1単組1名、総勢9名の精鋭が、また議長はじめ幹事役員にも新たなメンバーも加入し、皆さん各単組を代表され、平均年齢も30代前半と、今後の道路建設業界の将来を担う、いや、担っていかなければならない世代であります。今期はこの若い方たちとその力を発揮したいと思います。

今期の活動は、先期来より本部で協議されてきた活動、予算の見直し、地協活動も「地協の独自性」に委ねられる方針から、中部地協も同様に幹事会、定期大会、レク活動等、諸行事の見直しをはかりました。本部の地方交付金の減額をうけ、地協としても、昨年来のような活動は正直できません。しかし、過去培ってきた経験、ノウハウを生かし、幹事役員が中心となって手作りの地協運営に努め、地域における構成組織、組合員の交流、教育を中心に、かつ組合員にのニーズに即した活動を展開いたします。

中部地協　議長　千原若男（大成ロテック社員組合）

関西地協定期大会開催

H.14.9.27

平成14年９月27日午後６時30分から、大阪府立労働センターにおいて第13回定期総会が開催された。 加盟10単組から、21名の代議員が出席し、総会議長に日本舗道労働組合の片山代議員、総会書記には大林道路職員組合の小林代議員が選任され、つつがなく議事が進行された。

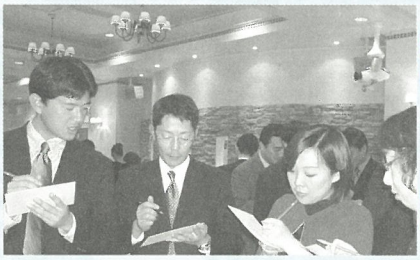
最初に、今期で退任となる山川議長から、今期の反省や、今後の道路建設業界における道建労協の活動についての挨拶があった。また、来賓の白井議長からは、これからの道建労協についての厳しい話を賜り、より一層各単組が一丸となり活動する必要があるということを痛感した。

関西地協は、レクリエーションを中心とした活動をしてきたが、厳しい予算のなかで、今後は、より効率的に予算を活用できるイベントを考える必要があり、今期から議長に就任した乾議長を中心に、17人の役員が、それぞれの役割を果たすと共に、力を合わせて頑張らなくてはならない。

今回の定期総会は、今までの関西地協から脱皮し、厳しい社会情勢のなかで、有意義に活動できる関西地協に新しく生まれ変わるための区切りとなる総会であったと思う。

関西地協　事務局長　松本　功（大林道路職員組合）

恒例！ クリスマスパーティー開催！



12月11日（水）に建設連合、道建労協の共催による毎年恒例のクリスマスパーティーが開かれました。共催と申しますと聞こえはよろしいようですが、ほとんどの段取りは建設連合愛知さんにお願いし、私共は参加のみをさせて頂いたような形で…。この場をお借りし御礼を申し上げたいと思います。

パーティの方は趣向を凝らしたゲーム等で非常に楽しく過ごすことができました。その中でも皆が賞品に魅せられ一際盛り上がったのが恒例となりつつある木偏漢字ビンゴゲームでした。携帯電話の辞書と首っ引きで漢字を羅列する方が多い中、見事特賞の電動スクーターをGetした人が会場の廊下までもを暴走し従業員の方をフリーズさせるという余興までつきました。

そして私はというと、閉会の挨拶を頼まれたばかりに食事は基より大好きなお酒まで最後まで味わった気がしませんでした。

大成ロテック社員組合　千原若男

物知りクイズ

もうすぐ国民的行事？のバレンタインデーの季節がやって来ます
バレンタインデーにまつわる問題です

Q1 バレンタインデーといえばチョコレート！！日本のチョコレートの規格でチョコレートと呼べるものはチョコレート生地の比率が何%以上の物でしょうか？
（1．35%　2．50%　3．60%　4．75%）

Q2 ホワイトデーのきっかけとなった3月14日にマシュマロデーのキャンペーンを行った博多のお菓子屋さんの名前はなんというでしょうか？
（1．石村萬盛堂　2．岩田屋　3．ふくや　4．ひよ子）

Q3 お隣の国、韓国では4月14日まで行事は続くそうです。その4月14日は何デーと呼ぶでしょうか？
（1．オレンジ　2．ブラック　3．グリーン　4．レッド）

Q4 Q3の日、韓国ではある食べ物を食べるそうです。その食べ物とは？
（1．オレンジ　2．ジャージャー麺　3．メロン　4．焼肉）

Q5 バレンタインデーの2月14日に生まれた人は誰？
（1．林家こぶ平　2．春風亭小朝　3．峰竜太　4．海老名美どり）

物知りクイズ「秋の味覚編」当選者発表

前回の物知りクイズ（第58号ＰＡＶＥ）の当選者が決定いたしました。全問正解1名と食欲をそそる？レベルの高い難問でした。応募者少数により3問以上の正解者にもお年玉をお送りすることにいたしました。　ご応募ありがとうございました。

前回の答え

Q1	②みかん5個分	（柿のビタミンC）
Q2	①千葉県松戸市	（二十世紀梨の発見）
Q3	③水中探知機の素材	（ぶどうの酒石から聴音材）
Q4	②宮古島	（サツマイモの伝来）
Q5	②利平	（栗の品種）

当　選　者（敬称は省略させていただきます）

西本千登勢	（大林道路職員組合）
池田　和代	（全大有労働組合）
松浦　泰明	（全大有労働組合）
元宗　久美	（全大有労働組合）
伊藤　麻紀	（大成ロテック社員組合）
今野　曜子	（東亜道路労働組合）
長江　克訓	（東亜道路労働組合）
尾松　靖子	（日本鋪道労働組合）
藤森　俊二	（日本鋪道労働組合）
古賀　麻美	（前田道路労働組合）

これからも物知りクイズをよろしくお願いいたします。

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- ●回答
- ●賞品送り先住所・氏名および所属単組名
- ●締め切り　2／28
- ●今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- ●宛先　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11　日本鋪道労働組合内
  道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛　FAX 03-3535-4810
  URL http://www1.ocn.ne.jp/~cru

※次号は6月発行の予定です。

単組委員長登場！

全大有労組　北埜忠広 執行委員長

北埜委員長の紹介

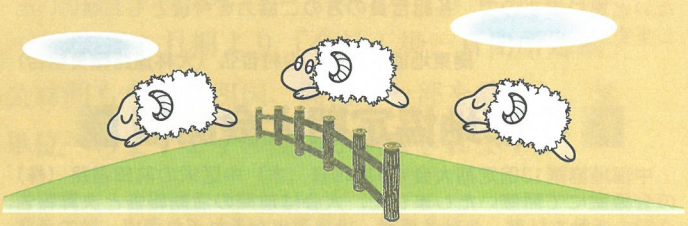
はじめまして、全大有労組あたらしく執行委員長になりました北埜忠広（きたの ただひろ）と申します。昭和43年11月11日生まれの34歳です。

若い！と声がすぐに返ってきそうですがそのとおり若いと思っています。

若さで、この時代だからこそ心機一転、組合に元気を吹き込みたいと思っています。

若さを言い訳にせず、武器になるように組合を、また企業を突き動かしていきたいと思います。皆様の経験と知恵を拝借する事が多々あると思いますが、その時は是非よろしくお願い致します。

（全大有労組　執行委員長　北埜忠広）



編集後記

年末年始が久しぶりの長期休暇となり、心身ともにリフレッシュされた方も多かったことと思います。とはいえ、東京では数十年ぶりに雪の散らつく元旦を迎え、また荒天の中、各地の海や山などでさまざまな被害が発生し、2003年は波乱の幕開けとなりました。自然の前では人間は本当に微力な存在だと改めて感じますが、道路建設業に従事する私たちは、そうした自然と対峙せざるを得ない労働環境にしばしば晒されるものです。今年も安全に留意し、健やかに1年を送りたいものです。

（フジタ道路職員組合 榎田信司）